



多羅尾小学校ホームページが開設されています。 <http://edu.city.koka.lg.jp/taraosyo/>



めあてをもつことから

「きりつ」一学期終業式のはじめの号令。その時驚くことが起こりました。

本校には、ふだん車いすで生活しているお子さんがいます。そのお子さんは、これまでそのような場面では座ったままで背筋を伸ばして良い姿勢になることが常でした。でもこの日は違いました。車いすから手すり付きの学習椅子に移って座っていたそのお子さんが、号令とともに、両手すりをつかみながら、足の裏をしっかりと床につけて、腰を浮かして立ち上がり、みんなと一緒に礼をしたのです。

このお子さんは、立つことへの練習をこれまでから重ねていましたが、今学期は特に自分で一つひとつのトレーニングの「めあて」をしっかりと取り組むということが続けてきていました。そんな彼には、「きりつ」の声がこれまでとは違って響き、「立ち上がろう」という強い気持ちがあわき起ったのだと思います。「めあて」をもつことは、確かに人を成長へと導くことを確かに感じさせてもらった感動の場面でした。

7月29日には、市水泳記録会が、今年は土山・甲賀・信楽ブロックの合同開催の形で甲賀町のB&G海洋センターを会場として行われました。本校からは3名の6年生児童が参加しました。初めてのプールで、しかも普段見慣れない420名という多数の児童の中でしたが、3人ともが「自己新記録」を出すことができました。中には24秒も記録を縮めた子があり、たずねてみると、とにかく息継ぎを減らそうと決めて泳ぎ始めたとのことでした。方法としては満点とは言えないかも知れませんが、そんな決意にすけて見える「いい記録を出したい」という強い思いが何より大きくはたらいたのではないかと思います。これも「めあてをもつ」効果の一つだったと言えるでしょう。



子どもたちは夏休みに入っています。終業式では子どもたちに「めあてをもつ」「ふりかえる」を何回できるかが、いい夏休みにできるかどうかの分かれ道だよと話しました。子どもたちは今日も自分で決めた「めあて」とその「ふりかえり」の繰り返しをしているのではないかと思います。9月の子どもたちとの出会いが楽しみです。

賛助会員へのご協力、ありがとうございました

多羅尾区の多くの皆さまに、ご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。皆様からご厚情をいただいておりますことは、子どもたちにも伝えてまいります。地域の皆様に感謝しつつ子どもたちの教育やPTA活動のために、大切に活用させていただきます。

令和元年度 学校評議員の皆様 (順不同)

高畑啓司様 大塚文博様
奥嶋たみ子様 田中孝志様
西尾京子様

8月の行事予定



5日(月) 6年校外学習(アニー観劇)

17日(土) 愛校作業 PTA 運営委員会【予備日24日】

愛校作業では近隣の皆さまには早朝よりご迷惑をおかけするかとありますが、ご理解の程よろしくお願いたします。

7月30日(火)に第1回の会議を開催し、一学期の取り組みや学校評価の結果についてお伝えし、学校経営や運営にかかる多角的なご助言とご指導をいただきました。一年間お世話になります。よろしくお願いたします。

今月の多羅尾っ子

すすんで学び 自分に自信 ふるさとに 誇りがもてる子

子どもたちのにぎやかな歓声と水しぶきがプールから聞こえてきた7月。今年の初夏は涼しかったですが、元気に日焼けした多羅尾っ子は、今月もたくさんの体験学習をしました。

☆1・2年集合学習 1/5

小原小学校で3校（多羅尾・小原・朝宮）が集まりました。大きなプールで水泳の学習をしたり、歌を歌ったりと楽しく過ごすことができました。



☆水から身を守る 着衣水泳 1/18

全校で着衣水泳を行いました。「浮いて待つ」をポイントに、大の字になったり、ペットボトルを抱えたりして長く浮く練習をしました。

服を着たままプールに入るという慣れない体験をして、動きにくさや水を吸った服の重さを感じることができました。



オペレッタの内容が決まりました!!

全校の学年構成や自分たちが表現したいこと、伝えたいことを考えて作品を探し、今年の演目は「きつねのおきゃくさま」に決定しました。テーマは「やさしさ・絆～人がやさしくなる過程～」です。これからセリフや舞台を構想しながら、台本を完成させていきます。

本番の10月26日（土）は、たくさんの方に
お越しただけますようよろしくお祈いします。

みんなで
がんばるぞ!



☆名人に弟子入り!～朴葉もち作り～

田中さんご一家・清水さん・西尾さんにお世話になり、楽しく朴葉もち作りをさせていただきました。今年は朴の葉を取りに行くことからスタートしました。6年生が山に入り、何往復もしながらみんなの分の葉を運びました。始めは元気だった3人ですが、次第に声も出なくなり、足取りも重くなり…。「こんなにしんどいことを田中さんは毎年一人でしてくださっていたんだ。」ということに気付くよい経験をさせていただきました。

材料の準備、当日のご指導など、地域の方に支えていただいていることを、本当にありがたく感じております。

